



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 ソフトバンク・テクノロジー株式会社  
コード番号 4726 URL <http://www.softbanktech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 阿多 親市  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO 管理統括 (氏名) 長田 隆明

TEL 03-6892-3063

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	30,075	5.0	1,014	61.1	935	50.8	485	△8.3
27年3月期第3四半期	28,639	11.5	630	△15.7	620	△17.4	529	61.1

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 394百万円 (△30.2%) 27年3月期第3四半期 565百万円 (38.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第3四半期	50.00	49.57
27年3月期第3四半期	54.64	54.04

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年3月期第3四半期	21,959	10,873	47.2	1,065.96
27年3月期	22,175	10,974	46.0	1,052.58

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 10,368百万円 27年3月期 10,208百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	42,000	5.5	1,700	21.5	1,600	14.0	1,000	13.2	103.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 6「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	10,688,900 株	27年3月期	10,660,100 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	961,890 株	27年3月期	961,890 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	9,709,011 株	27年3月期3Q	9,684,713 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は同日TDnetで開示するとともに、当社ホームページ(<http://www.softbanktech.co.jp/corp/ir/>)にも掲載します。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	9
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

	(百万円)			(円)	
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1株当たり四半期(当期)純利益
平成28年3月期第3四半期	30,075	1,014	935	485	50.00
平成27年3月期第3四半期	28,639	630	620	529	54.64
増減率	5.0%	61.1%	50.8%	△8.3%	△8.5%
(参考)平成27年3月期	39,816	1,398	1,403	883	91.15

ソフトバンク・テクノロジーグループの当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高30,075百万円（前年同期比+5.0%）、営業利益1,014百万円（前年同期比+61.1%）、経常利益935百万円（前年同期比+50.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益485百万円（前年同期比△8.3%）となりました。

当期の業績に関する主な増減要因は、以下のとおりです。

## (a) 売上高

売上高は30,075百万円となり、前年同期と比較して1,436百万円（前年同期比+5.0%）増加しました。当社単体においてプラットフォームソリューション事業の機器販売及びIT基盤構築案件が減少しましたが、シマンテックストアの売上高が好調に推移したこと、及びシステムインテグレーション事業における大型案件の受注、また各事業の運用保守サービス案件が増加したことにより、増収となりました。

## (b) 限界利益（注）

限界利益は8,099百万円となり、前年同期と比較して523百万円（前年同期比+6.9%）増加しました。また、限界利益率は26.9%となり、前年同期と比較して0.5ポイント向上しました。事業構造の転換が着実に進展するとともに、自社開発のコンテンツやサービス提供を行う子会社各社が利益率の向上に貢献しております。

（注）限界利益＝売上高－変動費（売上とともに変化する商品仕入や外注費、物流費等）

## (c) 固定費

固定費は7,084百万円となり、前年同期と比較して139百万円（前年同期比+2.0%）増加しました。これは主に、当社単体における従業員の増員によるものです。

## (d) 営業利益

上記の結果、営業利益は1,014百万円となり、前年同期と比較して384百万円（前年同期比+61.1%）増加しました。

## (e) EBITDA（注）

EBITDAは1,741百万円となり、前年同期と比較して346百万円（前年同期比+24.9%）増加しました。これは主に、事業拡大のための投資と子会社の増加によるものです。

（注）EBITDA＝営業損益＋減価償却費＋のれん償却費

## (f) 営業外損益

営業外損益は78百万円の損失となり、前年同期と比較して69百万円損失が増加（前年同期は9百万円の損失）しました。これは主に、持分法による投資損失が増加したことによるものです。

## (g) 経常利益

上記(d)～(f)の結果、経常利益は935百万円となり、前年同期と比較して315百万円（前年同期比+50.8%）増加しました。

## (h) 特別損益

特別損益は8百万円の利益となり、前年同期と比較して238百万円（前年同期比△96.4%）利益が減少しました。これは主に、投資有価証券売却益が減少したことによるものです。

(i) 税金等調整前四半期純利益

上記(g)～(h)の結果、税金等調整前四半期純利益は944百万円となり、前年同期と比較して77百万円（前年同期比+8.9%）増加しました。

(j) 法人税等合計

法人税等合計は416百万円となり、前年同期と比較して115百万円（前年同期比+38.4%）増加しました。

(k) 親会社株主に帰属する四半期純利益

上記(i)～(j)の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は485百万円となり、前年同期と比較して43百万円（前年同期比△8.3%）減少しました。

当社の報告セグメントは、「ICTサービス事業」の単一セグメントとしており、「ICTサービス事業」を構成する主要なサービスについては、次のとおりであります。

セグメント	サービス区分	主なサービスの内容	主な事業会社の名称
ICT サービス 事業	デジタル マーケティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ECサイト運営代行サービス、フロントセットの開発・販売及びウェブフロントサービスの提供</li> <li>・ウェブサイトの構築、アクセスログ解析ツール、データ解析及びコンサルティングサービスの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトバンク・テクノロジー(株)</li> <li>・フロントワークス(株)</li> <li>・(株)環</li> </ul>
	プラットフォーム ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT基盤の構築と運用保守サービス、リナックスソリューションの提供</li> <li>・脆弱性診断テストや標的型攻撃対策サービス、電子証明書を利用した認証や暗号化サービスの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトバンク・テクノロジー(株)</li> <li>・サイバートラスト(株)</li> <li>・ミラクル・リナックス(株)</li> </ul>
	システム インテグレーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報システムの開発と運用保守サービス、タブレット端末やスマートフォン、ロボット用アプリケーションの開発</li> <li>・マイクロソフト社製品を軸とした情報システムのクラウド移行支援、親和性の高い自社クラウドサービスの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトバンク・テクノロジー(株)</li> <li>・M-SOLUTIONS(株)</li> <li>・アソラテック(株)</li> </ul>

なお、一部のサービスに関するサービス区分と、限界利益における各子会社との内部取引消去額の分配方法について見直しを行ったため、各サービス区分の前年同期の売上高及び限界利益の金額は現在の計上方法に則して算出しております。

## ① デジタルマーケティング

(百万円)

	前年同期	当第3四半期	増減	増減率
売上高	14,005	15,740	1,735	12.4%
限界利益	1,982	2,420	437	22.1%

## ＜ 主なサービス内容 ＞

## ・ECサービス

シマンテックストアの運営代行や、フォントセットの開発・販売、ウェブフォント及びウェブフォントプラットフォームサービスを提供しています。

## ・データアナリティクス

ウェブサイトのコンテンツ管理システムの構築とアクセスログ解析、データを蓄積・加工・分析するBIツール、及びそれらに付随するコンサルティングサービスを提供しています。加えて、社内ログの分析サービスや広告費の効果測定サービス等も提供しています。

## ＜ 当事業の業績概況 ＞

当事業の売上高は15,740百万円となり、前年同期と比較して1,735百万円（前年同期比+12.4%）増加しました。これは、シマンテックストアの売上高が好調に推移したことに加え、ウェブアクセス解析ツール及びそのコンサルティングサービスに関する受注が増加したことによるものです。また、デジタルフォントの企画・開発・販売を行う子会社フォントワークス(株)も増収に寄与しました。

限界利益は2,420百万円となり、前年同期と比較して437百万円（前年同期比+22.1%）増加しました。シマンテックストア及びデータアナリティクス事業の売上高伸長と、フォントワークス(株)の増収に伴い増益となりました。

## ② プラットフォームソリューション

(百万円)

	前年同期	当第3四半期	増減	増減率
売上高	8,597	7,999	△597	△7.0%
限界利益	3,000	2,851	△148	△5.0%

## ＜ 主なサービス内容 ＞

## ・プラットフォームソリューション

サーバーやネットワーク機器の販売、IT基盤の構築と運用保守サービスの提供、リナックスOSやデジタルサイネージシステム、統合監視ツール及びサポートサービスを提供しています。

## ・セキュリティソリューション

セキュリティ運用監視や標的型攻撃対策、各種診断サービス、その他セキュリティ商材を組み合わせた包括的なソリューション、電子証明書を利用した通信の暗号化や認証サービス等を提供しています。

## ＜ 当事業の業績概況 ＞

当事業の売上高は7,999百万円となり、前年同期と比較して597百万円（前年同期比△7.0%）減少しました。これは主に、プラットフォームソリューション事業における機器販売及びIT基盤構築案件の売上高が減少したことによるものです。

限界利益は2,851百万円となり、前年同期と比較して148百万円（前年同期比△5.0%）減少しました。プラットフォームソリューション事業の減収に伴い、減益となりました。

## ③ システムインテグレーション

(百万円)

	前年同期	当第3四半期	増減	増減率
売上高	6,037	6,336	298	4.9%
限界利益	2,591	2,827	235	9.1%

〈 主なサービス内容 〉

・システムインテグレーション

情報システムの開発とそれに付随する運用保守サービスを提供しています。また、スマートフォンやタブレット端末、ロボット向けのアプリケーション及び開発支援ツールの開発・販売を行っています。

・マイクロソフトソリューション

マイクロソフト社製品を軸に、顧客企業のコミュニケーションシステムのクラウド移行支援や、移行後の運用監視サービス、ユーザーの利便性と企業のセキュリティを両立する自社サービスなどを提供しています。

〈 当事業の業績概況 〉

当事業の売上高は6,336百万円となり、前年同期と比較して298百万円（前年同期比+4.9%）増加しました。これは主に、大型の情報システム開発案件を受注したこと、またマイクロソフトソリューション事業における運用保守サービスの売上高が増加したことによるものです。

限界利益は2,827百万円となり、前年同期と比較して235百万円（前年同期比+9.1%）増加しました。システムインテグレーション事業及びマイクロソフトソリューション事業の増収と利益率の改善により増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(百万円)

	平成27年3月期	平成28年3月期第3四半期	(参考) 平成27年3月期第3四半期
総資産	22,175	21,959	20,889
純資産	10,974	10,873	10,561
自己資本比率	46.0%	47.2%	47.0%

## (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末より215百万円減少して21,959百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金の減少などはありませんでしたが、仕掛品の増加などにより、前連結会計年度末より247百万円増加しました。

固定資産は、投資有価証券の減少などにより、前連結会計年度末より463百万円減少しました。

## (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より115百万円減少して11,085百万円となりました。

流動負債は、未払法人税等の減少などにより、前連結会計年度末より33百万円減少しました。

固定負債は、長期借入金の減少などにより、前連結会計年度末より82百万円減少しました。

## (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、子会社株式の追加取得に伴う非支配株主持分の減少などにより、前連結会計年度末より100百万円減少して10,873百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

なお、平成27年4月27日に公表しました平成28年3月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）、連結会計基準第44－5項（4）及び事業分離等会計基準第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が28百万円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。



## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,788,629	5,946,957
受取手形及び売掛金	6,941,512	6,528,210
商品	137,437	254,120
仕掛品	208,104	521,788
繰延税金資産	390,507	245,187
その他	945,805	1,161,793
貸倒引当金	△11,958	△10,309
流動資産合計	14,400,039	14,647,749
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	528,219	537,421
工具、器具及び備品(純額)	874,792	795,307
建設仮勘定	2,445	4,290
有形固定資産合計	1,405,457	1,337,019
無形固定資産		
のれん	1,366,627	1,242,565
ソフトウェア	1,082,432	1,032,407
ソフトウェア仮勘定	79,762	123,494
顧客関連資産	654,610	606,711
その他	311,052	289,312
無形固定資産合計	3,494,485	3,294,491
投資その他の資産		
投資有価証券	1,185,692	871,586
繰延税金資産	260,729	273,050
その他	1,486,627	1,592,538
貸倒引当金	△57,793	△57,061
投資その他の資産合計	2,875,256	2,680,113
固定資産合計	7,775,199	7,311,623
資産合計	22,175,238	21,959,373

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,624,483	4,946,224
1年内返済予定の長期借入金	324,600	324,600
リース債務	69,992	71,047
未払金	836,331	710,001
未払法人税等	460,030	82,634
賞与引当金	549,422	262,575
役員賞与引当金	-	45,360
受注損失引当金	8,574	1,650
資産除去債務	10,330	-
その他	1,740,095	2,146,721
流動負債合計	8,623,860	8,590,815
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	963,450	746,700
リース債務	502,382	452,085
繰延税金負債	146,953	127,016
長期前受金	341,665	544,996
退職給付に係る負債	105,346	71,586
資産除去債務	240,906	256,960
その他	176,460	195,468
固定負債合計	2,577,163	2,494,814
負債合計	11,201,023	11,085,629
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	645,033	660,238
資本剰余金	722,682	709,520
利益剰余金	9,418,346	9,709,867
自己株式	△747,634	△747,634
株主資本合計	10,038,426	10,331,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	164,346	31,900
為替換算調整勘定	5,323	4,739
その他の包括利益累計額合計	169,670	36,639
新株予約権	86,341	100,824
非支配株主持分	679,777	404,287
純資産合計	10,974,215	10,873,743
負債純資産合計	22,175,238	21,959,373

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	28,639,628	30,075,839
売上原価	24,421,767	25,310,372
売上総利益	4,217,860	4,765,467
販売費及び一般管理費	3,587,801	3,750,664
営業利益	630,059	1,014,802
営業外収益		
受取利息	497	256
受取配当金	4,080	-
持分法による投資利益	8,172	-
為替差益	32,050	3,471
雑収入	8,752	8,783
営業外収益合計	53,553	12,510
営業外費用		
支払利息	23,169	19,001
持分法による投資損失	-	69,215
投資事業組合運用損	37,643	779
雑損失	2,295	2,378
営業外費用合計	63,108	91,374
経常利益	620,504	935,938
特別利益		
投資有価証券売却益	263,436	11,500
退職給付制度改定益	-	4,029
特別利益合計	263,436	15,529
特別損失		
投資有価証券売却損	15,769	4,703
減損損失	687	1,930
特別損失合計	16,457	6,634
税金等調整前四半期純利益	867,482	944,833
法人税、住民税及び事業税	358,139	240,153
法人税等調整額	△57,235	176,174
法人税等合計	300,904	416,328
四半期純利益	566,578	528,505
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	529,159	485,485
非支配株主に帰属する四半期純利益	37,418	43,020
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,878	△132,445
為替換算調整勘定	1,211	△1,754
持分法適用会社に対する持分相当額	-	540
その他の包括利益合計	△666	△133,660
四半期包括利益	565,911	394,845
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	528,492	352,455
非支配株主に係る四半期包括利益	37,418	42,390

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。